

まつり委員会担当副理事長方針

杉本 崇

これまで中津川青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現に向け様々な活動を積み重ねてきました。その一つ一つが、現在の中津川を形成していると考えます。しかし、変化が激しい現代社会において現状に満足し活動を止めてしまうと、現状維持ではなく途端に衰退してしまいます。また、青年会議所をはじめ一部の団体・数人の市民が活動しているだけでは変化に対応できません。私たちそして未来の子どもが今後も明るく豊かに暮らすためにも、この地域に住み暮らす市民一人ひとりが地域を良くしたいという想いをもって行動することが重要であると考えます。

地域を良くしたいという想いをもつためには、郷土愛を抱くことが一つの重要な要素だと考えます。郷土愛には様々な形がありますが、地域にある歴史文化・伝統への想いが誇りとなり郷土愛に繋がると考えます。そして、この中津川には多くの魅力が詰まったまつり「おいでん祭」があります。しかし、まつりに携わる人々や市民の中で「おいでん祭」に想いをもって広く発信している方は少ないのではないのでしょうか。まつりに携わる方を筆頭に、多くの市民が「おいでん祭」を広く発信し様々な評価が得られることで、潜在する魅力の発見・新たな魅力の創出に繋がると考えます。それを繰り返すことで各々の「おいでん祭」への想いが高まり、誰の心にも繋がるふるさとのまつりとして継続・発展していくと考えます。

年々メンバーが減少し、経験年数も短くなり、一人ひとりの質を高めなければならない現状であるからこそ、私は副理事長としてこれまで経験させていただいたことを共有し、これからのメンバーの成長の機会としていきます。そして、この地域にとって必要とされる団体としてあり続けるために尽力してまいります。

<まつり委員会>

「おいでん祭」を広く発信することで、まつりに携わる方を筆頭に多くの市民に「おいでん祭」の魅力に気がついていただける推進事業を行っていただきたい。また、今後もおいでん祭が継続・発展するよう責任をもって運営していただきたい。